

基調講演

『ロータリアンこそ現代を救う』

—おれがおれがの世の中で
奉仕の灯をともしロータリー—

仏道家 高橋 堯 昭



高橋でございます。私、あの去年おとしで
すか、角館の大会にお邪魔して秋田ってところは
いいとこだなっていうことをしみじみ感じまし
てね。それで今年、副幹事からお電話がありま
してお受けしたんですが、その時ね十月の三日
かね、それまで死ねなくなっちゃったな、って
こう言ったんですよ。そうしたら副幹事がびく
くりして、ええどっかお悪いところあるんです
かついていやジョークだよって。まあそれから
ですねその当時私90kgあったんですよ。このま
んまじゃ本当に死にましたらね穴あけてしま
いますから。

私自分のとこの大会にね東大の教授だった花
山って、東条さんの極東裁判の弁護人やった方
のご子息で、ご子息つつつても私よりおおい
んだけど。その先生を頼んだんです。「おお高橋
君とこじゃいくよっ」つって地区大会にあてに
していたところがその前に死にましたんですよ。
いやあ困りますよこれは。

それだからそういうことが無いようにと思っ

てねダイエットしたんですよ、月に1kgずつ。
そしてようやく81kgまで来たんですけどね、また
油断してまたきゅつとやったらそれでひゅーっ
と3kgばっかなっちゃったね。

ただ私心配するのはね、私は名古屋から東
京ぐらいたったらですね私の静岡弁は大丈夫な
んです。ただし、秋田の皆様方に私のこの静岡
弁がねえ通じるかどうかそれが心配で。なるべく
標準語を使うつもりではございますけれども
ね。ついそんなことはねあずらなんつって静岡
弁使っちゃうと、まあその点はお勘弁願いた
いですね。

私のこの言葉だつてね、もともとこんな言葉
じゃなかったですよ。私はあの東京文理科大
学っていう先生の学校を出たんですよ。それで
柔道ばっかやってたからね、それで私は東京文
理科大学で哲学科へ入ったんですけどね、哲
学の勉強なんてちっともしねえんだよね。それ
で柔道、大学の道場で柔道やってね、そして今
度は講道館へ行ってやるんですよ。二階建ての

寄宿舍がねえ上がれなかったですね、疲れて。
這いずって上がったんです。まあそれが一つの
青春の思い出だね。

そんなような事で私は大学卒業すると大学院、
今の大学院ですね研究会。昭和27年にドイツで
ね、体育の柔道の先生を募集してるっていうの
聞いたから是非行ってえつったんだ、で話はト
ントン拍子に整って8月の24日ごろの飛行機に
乗る予定だったんですよ。7月の24日に親父が
死んじゃった。親父は柔道7段なんですよ。よ
せばいいものを56才にもなってね、4段5段の、
4段5段っていうと全盛期だね30歳位の。それ
を5人掛けやったんですよ、こういう体育館で。
4人投げて5人目に膝ついてそれが原因で私が
行く8月24日の丁度ひと月前の7月24日に死
んじゃった。お寺のね住職死ぬと困りますよ。

私の寺はね静岡県じゃ結構でかい寺なんです。
お葬式の寺じゃないんですよ。あのお祭りやり
ましてね、お祭りのときは5、6万の人が出て
来るんですよ。それでいてお賽銭くれるんです
ね。だから私は神様の方へ拝まなくても信者
の方へ拜んでたよ。まあそういう寺ですから親父
の兄弟弟子に狙われちゃってね、高橋君安心し
てドイツへ行きたまえと、俺が後やってやるっ
ていうんですよ、後やってやるっていうのは寺
取られちゃうんですよ。そして私は彼の小さな
寺に移んなきゃなんないんですよ。

私の弟は東北大行ってたんです。日本女子大
二人行ってるんです。私がドイツに行くとき
みな路頭に迷っちゃうじゃないですか。そこで
かたがない、くそ坊主になったんですよ。

◎にこぼん和尚と犬の散歩◎

頭ジョキジョキジョキジョキこう切られると
ね涙出ますよ、あの断髪式で相撲が泣くのわか
るね気持ちが。そうしてねまあ一生懸命くそ坊
主になったんです。その時ですよ、10年も東京
にいますからね標準語ですよ、静岡の標準語
じゃないですよ今の様な私の。東京の標準語を
使ってねおばあちゃん達来るでしょ、お寺って

のはだいたいじじいばあが来らあね。そうすると
おばあちゃんよくご参詣で御苦労さまでござい
ます何て言うかね、じいさんばあさんねえうー
さん気取っちゃって、スキンシップもなにも無
いんですよこれね。

そこでガラッと言葉変えちゃった。「やいば
ばあまだ死なねえのかや」、そうするとばあ
もねえさるものだよ、「うーさんわきゃあに」
向こうの言葉こういう言葉ですから、「わ
きゃあに欲ふきゃあな」って。「そうじゃねえ
だよ」と。「おめんとこの跡継ぎやしみつたれ
てるから、せいぜいおばあや、長生きして付け
届けをたんと持ってこいや」とこうやってやる
と同時にですね、柔道整復術を心得ているから
肩甲骨の内側をぎゅつとこう、にこつと笑って
ぼんとかやるんですよ。そうするとケンピ
キっていうね肩がはつてるとこだからそこが
「ひいひい」なんつってね、それで人気を博し
ちゃってね私「にこぼん和尚」っていうんだよ。
にこつて笑ってぼんと叩く、その内に寺もどん
どんどんでかくなつたんですよ。にこつて
笑ってぼんと叩いて、だけれども言葉はこの
通りになっちゃった。もう直らないね70過ぎた
んじゃ。それだから今日は皆さん方ね是非この
判読して、はん聞きっていうのかな判読、読む
だったら判読してくれっていうんだけど、ひと
つご理解願いたいと思うんでございます。
まあいずれにしてもくそ坊主になったんですよ。

くそ坊主っていやあね、今はねもっとすげえ
くそ坊主なんですよ。境内がね3万坪あるん
ですよ、もと8万坪あったんですけどね、5万坪農
地改革で取られちゃってそれでも3万坪まだ
残ってる、海岸だもんですから町の人ね皮膚
病にかかった犬猫、手に負えなくなったハス
キー、シベリアンハスキー、捨ててくんですよ
境内へ。

私は最初、可哀想だな保健所へやったら殺さ
れてしまうに可愛そうだなと思ってね、一匹
飼ったんですよ。野良犬だからノラって名前付
けてね。そうしたらまたね別のがきてるんです

よ、こっちへエサやってこっちへやらないわけにいかないでしょ、じゃあ捨て犬だからステって名前付けようなんつってね、ノラ、ステなんつうと恥ずかしがねえで来るだよ、喜んで。そしてまた一匹。それがたまりにたまって今は13匹、昨日の朝なんて5時から一緒に運動してねエサやってきたんですよ。

ねえ猫にしても犬にしても尊い命を持ったものなんですよ。それを物だと思ってね使い捨て、あのバブル以来の使い捨てという、それでどんどん捨てちゃうんですね。ですからね私はねそういう風潮にねえ意地になってね13匹飼ってるんですよ。で犬一緒に歩くでしょ、あいつら生まれが違いますからね喧嘩するグループとしないグループとこうわけて歩くんです。運動するとねうんちするですよ。そのままにしておくねえまた近所のやつが来てそこへやっちゃうから、しょうがねえあの熊手のこうなったやつあるでしょ、お面がついたりしてね、そのお面をはずしたやつをねこうやってこのうんちとするんですよ。ああこれが本当のくそ坊主かなあと。思って。そのくそ坊主がガバナーになったんだから、まあ世は末だねこれ。

そんなことで一生懸命に犬と歩いている、有り難いことにね一日にね1万2、3千歩歩かなきゃなんなくなっちゃう。そうすると犬の為でもあり自分の為ですね。情けは人のためならずってことしみじみ今感じているわけでございます。いずれにしてもこうして一生懸命犬と一緒に運動しているんでございますがね。

◎好意を受けて失敗も◎

さてこないだね、こないだっていつでも丁度十年前だな、面白い話があったんですよ。というのは私はね柔道やってる時に、背負い投げが体落としてそればかりをやってたんです。そうしてね140kgの黒人をね講道館で背負って、それが今度膝のここへ乗っかっちゃったんです。膝がこうなっちゃった。

それでとうとう現役は引退ちゅうことに



なっただございませうがね、その事はね若いときは有り難いね痛くなかった、それがね60過ぎたら急に痛くなってね好きなゴルフもできないし歩けないんですよ。それでしょうがねえなと思って2年間歩けなかったんです。

そしたらある整形外科のお医者さんがねそれ歩かないとダメだよ、とにかく歩いてごらんさい、どンドンどンドン歩いてごらんさいつって、それから私は歩いたんです。歩いたら今なんでもなくなっちゃったね。だから人間の体って大したものだなあと思うね。

その一番痛いときの話なんですけどね、私のところは年寄りが沢山来ますよ、年寄りが来るとねえみんなねえ何かって言うとか愚痴を言うですよ。おっさん俺腰いて一よ、わしゃ足痛くてとてもとても座れねえですなんていうから、いやあそんなこと椅子を置いとくから、つつつてねわしのところはね座れる人は座るように座れね一人には椅子を置いてあるんです。そしていてご祈禱するわけですがね、その時「おばあちゃんいくつだよ」ついたら「わしゃ80だ」て言うだ。「80で痛いの当たり前だ。昔は人生50年つってな痛くなねえ内死んじやっただよ。痛えってことは生きてるってこんだよ」と。そうするとこっち側のおばあちゃんがね「私もここ痛いです」と、「あんただけ痛えじゃねえみんな痛えだよ。痛いて事は生きてることだからまあじっと我慢していきましょうよ」とこう言うとおばあさんが喜ぶだよ。

ようするに皆さん方だっただございませうがね、自分だけ苦しいと思うと落ち込んじゃうんですよ、

そうじゃないでんでみんな重荷をしょってるのが人生なんだよとこう思えやね、前向き志向になるですね。それをばばあにやったの、そしてたらばあさん喜んで「そうですかそれじゃわしだけ痛えじゃねえ」ていうから「そうだよ」。「先生は足痛え痛え言うけんどうだい」つていうから「俺も痛くてしょうがねえだよ。だけんどうも俺だけ痛えじゃねえあんた達もいてえだから、まあ我慢するさ」ついたら、「わしんここにいい薬があるから、早速送るからたっぶりつけてくださいませ」て言うんですよ。

送ってきたのが見たらねこんなでけえチューブなんですよ。これをこつてり塗ったらねさぞかし効くだろうと思って風呂へ入ってねそして患部を洗ったところでこつてり塗って寝たんです。その内にヒリヒリしてきてボカボカしてきた。その内ならいいんです、その内我慢できなくなっちゃった。焼けるようなんですよ。とうとう今入った風呂の中飛び込んだからたまねえかちかち山だよ、うわあと思ってそしてその場で水かぶっちゃったんです。寒中だからたまったもんじゃねえ、歯はガチガチしてね、そしてようやく洗い流して蒲団の中に入ってガタガタ震えて、ちょっと落ち着いたところでそのチューブを見たんですよ。競走馬の筋肉痛の薬って書いてある。この革靴の底になる馬の皮ですよ。それをこんな厚い皮を通して効くんだからそりゃ強いよ。それをこのやわの膝の所じゃたまったもんじゃねえわね。ああ物事はよくよく慎重にやらなきゃなんねえなという事をね、その教訓受けたんですよ。

これも考えてみるとあのばあさんに「お前さんだけが痛えじゃねえんだよと、みんなてんでに痛いものもってるんだよ」ていうそれを喜んでばあさん、ああやって送ってくれたですよ。まあこういうねえおかしな失敗談がございませうがね。

◎ひよんな事から頭を下げて◎

まあいずれに致しましても私はねドイツに行

けなくてくそ坊主になったんです。だから昭和28年、ねえ私28の年ですわ、昭和の初めだから丁度年号と私の年と同じなんです、それが平成になっちゃったから困っちゃった、狂っちゃったね。

ある日こんな事がありました。近所の八百屋の前に立ってたんですよ。キャデラックが来たんですよ、キャデラック。日本に昭和28年なんて車なかったんですよ、天下のホンダがね自転車の後ろ側へバタバタバタバタつていうエンジンくっつけてさ、ああこれは便利だななんて「ベンリー」なんていうやつを作った頃ですよ。その時キャデラック。私はねどんな人が乗ってるだろうなつてこうやってのぞき込んだんですよ。大昭和製紙の創始者、斎藤知一郎つていう社長なんですよ。

私のがぞき込んだから向こうじゃ頭下げたと思ったんだよね、特にその人は永平寺のね篤信信者だったからね、合掌してると思ったんですよ。私はその時、ああこりゃ借金背負っちゃったな、ようしつってねキャデラックが向こうから来るとね見えるか見えない内に最敬礼するんですよ。

そのキャデラックつていうのはね、ヤーさんの車黒いけんどこさガラスなどがな、紫色なんですよ。乗ってるか乗ってねえか分かんねえんですよ。だんだん近づいてくると運転手だけだったりね、たかだか秘書が乗ってるぐらいのもんだ。でも負けちゃいねえ、俺借金背負ってるんだから。ようしこの借金返すぞーつていつて向こうから車来る度に最敬礼した、それを3年やったんですよ、3年やったらね沼津の一番良い料亭に招待されたんです。そして「あんた若きやーによく頭を下げる、たいしたもんだ。その気持を忘れるな」とほめられた。

昭和30年つていうとね日本がまだそれほどじゃないですよ、山海の珍味だよ、ねえ。昨日のパーティの料理も良かったな。その山海の珍味見た時ね私はああ頭さえ下げれば御馳走にありつけるなと思った訳じゃねえ一んだけど、それ

以来とにかくこっちから頭下げて行こう、こっちから声を掛けて行こうっていうのが私の人生観だったんです。

◎一念発起してガンダーラへ◎

あのそんなこととしてくそ坊主やってますとね友達がねどんだん外国から留学から帰ってくるんですよ。友達が成功するとさみしいですよ。顔じゃね、いやあおめでとうなんて言うけど腹の中じゃくそって思ってね、ギリギリなんて歯ざしりしてんだよね。はて俺も一つ勉強しましょうと、もういっぺん勉強し直そうと、だけれどもカントだヘーゲルだなんて事言ったってじじいばあに通用しないでしょ。

そこで私はね、仏教と西洋の思想とが結びつくのがガンダーラていうところなんです。ガンダーラ仏ってのはねギリシャ人が造ったというあのギリシャ的な彫刻なんですね。そういう東洋と西洋とが結びつくのがパキスタンなんです。よし俺はここんとこでひとつやってみようということでパキスタンへ40回、まあインドもちろん40回ですけど、アフガニスタン17回だよ、よくまあ行って来たね一遠くへ。

檀家の野郎ども、野郎どもって言っちゃあ悪いな、連中がね、「おっさん、お賽銭ごまけーて遊び行くぞら」て言うですよ。「冗談言うな」って言うのよ、パキスタンやインド遊びに行くところじゃねえよということでね、檀家から色々の批判されたりしたこともあるですよ。そりゃそうだ住職いねえだからね。「俺に印導与えてもらいたかったら日本に居る内に死ぬ」な



んて言うだからね、檀家の総会で。とんでもねえ和尚だよ。

まあそんな様なことで散々批判されながらインド・パキスタンへ行き続けたんですよ。だけれども独自性ということは必要ですよ。何やってますじゃダメなんだよな。だから私はそのアフガニスタン・ガンダーラの仏教彫刻の中にギリシャ文化とインド文化というものがどう結びついているかということをとにかく30何年やり続けてきたんですよ。それがね、逆に今になってこの72になってねインド学仏教学会で特別発表やれなんていうことになるんですね。ですからね商売でも何でも独自性を持たなきゃダメなんです、ねえ。これはロータリーの方へ行ったらってそうだよ、金チャン飴の奉仕じゃダメなんだよ。要するにこの鷹巢だったら鷹巢でなきゃならない奉仕というものがあって然るべきじゃないか、秋田なら秋田の奉仕があって然るべきじゃないかっていう事が私はそういう自分の体験で感じた訳でございますよ。

◎砂漠の中でご挨拶◎

まあいずれにしましても一人で40回もパキスタン・アフガニスタン歩いたんですよ。そこで、向こうから何万頭という羊が来るんですよ。羊は一匹一匹はね実に可愛い動物なんだけれども、何万頭となると重戦車ですよ砂ぼこりを上げちゃって。あれに踏みつけられたらもういちころだよ。その辺の砂漠に埋められたら、毘沙門の和尚アフガニスタンの砂漠で行方不明なんて事になりかねないね。ですからそういう時にこの顔のね顔面神経を総動員する訳です。引きつっちゃってるでしょ。引きつっちゃってるけどこれも総動員してね。そうすると先頭来た男がね、キョロキョロするんですよ。周り羊だけでしょ、キョロキョロしてるの、そうするとああ俺に挨拶したのかっていうねえ、照れくさそうな顔をして挨拶を言う。

先頭に親玉が付いてるから中程から来るのはああ親方と知り合いだと、今度は向こうから挨拶

拶してくれるんですよ。そうしてね群の後の方から来たのはね、あのチャドルっての被ってるんですよ、黒い、テレビで見るでしょ皆さん方。チャドルって。あのチャドル被ってる。それがねこれを食えなんて言ってねパンをくれるんですよ、パンを。みると砂だらけなんです。何故かっていうとき火してるでしょ夜、そうするとうどん粉を手で練ってね、そしてたき火のおきをパッと取って砂の中にパッと入れて砂をかけちゃうんです。そうするとプーッと増えるそのパンをくれるんだね砂だらけで、挨拶すれば。ただしその砂だらけのパンは大変ですよ。中だけ食わねえとね外側の砂がね入れ歯の土手でも挟まったらね、砂漠は水ねえでしょ水が、それこそ死ぬ苦しみですよ。でも要するにこちらから挨拶すれば向こうからね砂だらけのパンでもくれるんじゃないですか。とにかく挨拶ぐらい先にする様に、こっちからする様に仕込もうじゃねえかよと思うんです。

◎猛烈な湿気の中で◎

こんな様なことでね、インド・パキスタン40回、アフガニスタン17回歩いた訳でございます。そしてそんなことでね一生懸命このガンダーラそういう所をね勉強してきたんでございます。ちょっとね難しい話になるんですけどね、私がそのインドへ行ったインドへ行ったって自慢してたんですよ、そしたらね東大のねある元老の先生が「高橋君、君はなインドへ行った、インドへ行ったって言うけど君の行くのは11月から2月ぐらいまでの良いシーズン、それにインドへ行ったってダメだよ」「じゃ何時行ったらいいですか」つつたらね、このモンスーンのシーズンに行けっていうんですよ7月、8月に。

こっちはおっちょこちよいだからね早速飛行機乗ったんですよ。そうしたら大変だ。カルカッタで降りられねえ、カルカッタ空港が水没しちゃってた、その飛行機がデリーへ行ったんですよ、デリーも降りられないんですよ、そして緊急にボンベイ空港へ着陸しますっていう。

まあとにかく強行でですね、水がこんなある所着陸してですね、着いたんです。それだけ今度はホテルへ行くまではねタクシーがダメなんです。それでジープみたいなやつでね送られてホテル行ったんです。ホテル行ったが最後、もう一週間外へ出て歩けないんですよ。それで、だけどここまで来たんだからってねホテルから出てゲートウインディアで海岸の辺へこう立つとね、まず100%の、この間のあの大雨みたいなやつだ、100%の湿度持ったやつがうわーと吹いてくるんです。そうするとですね朝着たばっかのワイシャツが肩胛骨のここですね、肩胛骨のここがねカビ生えてるんですよ。で今のカメラはあのナイロンか何かになってますけど、昔は皮だったでしょ。カメラも。明日の朝になると手が着いたところだけこんなでかいあのカビが生えてるんですよ。ああそうかと、こういう状況だからインドにはねえカメラのケースの様な無生物にも神が宿るという内在論が起こったのかあということを感じましてね。

それから今度はガンダーラへ行っただけです。そうしたら砂漠でしょ。日中は灼熱の太陽ですよ。夜になるとね湿気がない所長いほうきでこう払うとね星がバラバラ落ちそうですよ。そういう社会に於いては天上の天国とね、地上のシャバは苦の世界だと、こういう人間論が起こるなあということを感じた訳でございます。まあこんなことね本を読めばいいんだけどね、私おっちょこちよいだからね自分の体でしみじみまあ感じた様な訳なんでございます。

◎砂漠とモンスーンの違い◎

例えばねこれね、蛇の嫌いな人がいるとごめんなさい。私は蛇が大好きなんです。その蛇っていうのはね春になると、まあこの辺もあんまりでこねえだろうなだんだん近代化しちゃうと。

私の寺がねその8万坪ある頃にはね大木がうっそうとしてたんですよ。そうすると卵から

出た割り箸ぐらいの蛇がニョロニョロニョロニョロしてんだよね。それを落ちている新聞紙に包んでね振るって学校行くんです中学行くとき。あれは蛇がこういうお腹の所がこうこけらがこうなってるもんでどんだんどん上へ上がって来ちゃうんですよね、それだもんでこうやって振るって行かなきゃダメなんですよ。

昔は女学校と男の学生と別々に汽車に乗ったですよね。それだもんでそれをちょっと口を開いてね、女の子の車両へポイとこうやるですよ。そうするとニョロニョロニョロニョロ割り箸ぐらいのもんでね女の子に取っちゃまるで大蛇ですよ。きゃーきゃーきゃーってみんな座席の上に立っちゃってね、悪いことに昔はあのデッキの所からね紐がぶら下がってたんですよ。それ引っ張ると汽車止まっちゃうんですよね。鉄橋の上でね誰かが引っ張っちゃったもんでね、汽車止めちゃったね。いやあ中学のねえ5年の時でね、横ピンタ張られたよ私は先生に。それでもあの時代だからまあそれで済んだでえ、今じゃ大変だなあ、それがガバナーになったのえ。

その蛇がねようするにこのモンスーン地域では、春雨が降ると木の芽が出てくるでしょ、春になるとね。そうすると蛇もニョロニョロ出ると、そうすると蛇自身も大地の生命力の化身だと、こういう風に感じた訳ですよ。だから日本だとあちこちに龍神さんなんて奉ってあるじゃないですか。これは農耕文化なんです。これがね砂漠へ行くと違うんですよ。

ギリシャなんか行きますとね両手にこう蛇を持った神様がね今から6千年位前に造った像が出て来るんですよ。それほどその当時は農耕文化だったんです。それがね3千年位前になりますとね片手に蛇を持って片手にね斧を持っているパールシンという神様の像が出て来るんですよ。それはこの慈母神という大地の神であるこれをね斧で殺そうとするそういう天なる神という一神教といいましょうかね、そういう信仰が出て来るんですよ。

LOW YOUR ROTARY DREAM



それですからね例えば旧約聖書にねアダムとイブを誘惑したの蛇だなんつって可哀想にね、そういうことで蛇はだんだんいじめられてくるんですよ。その典型的なものはギリシャ神話のメドューサっていうんですよ。

メドューサって神様は頭の毛が一本一本蛇なんです。その神様がねえギリシャの或いはトルコの諸アジアに於いてはみんなねえ奉られてるんですよ神殿の入口に。そしてもう一つはローマ皇帝の鎧のこういうところにまでねお守りとしてメドューサが彫られたんですよ。

そのメドューサがやがてですと一神教が発達してきますと、例えばイスタンブールの地下水槽じゃねえけど、こんなでっかいメドューサの像がね逆さっ倒しになったり横っ倒しにして地下水槽の奥深く封じ込められちゃうんですよ。こういうように砂漠の文化っていうのはね、他の存在を認めないっていうのが砂漠の文化なんです。

これもね無理はないんですよ。例えばこの鷹巣町のここで水出なくなっちゃったっていうですよ、そうすると鷹巣の軍隊はね大館へ攻め上がる訳ですよ。大館だってポーっとしちゃいられねえわね。そうするとそこそこでまた軍隊を作って戦う訳ですよ。その時に鷹巣が勝ってもね両方で飲む位の水があればいいんですけども、もし足りないとなるとその負けた方は全部砂漠へ追いやられちゃうんですよ。

砂漠に追いやられたらね、二日も水飲めないとノドかっ切って死んじゃうんですよ。それじゃ可哀想だということで西アジアにおきまし

ては、ひと思いに殺しちゃう事の方が慈悲深いという考え方が生まれんですよ。

皆さん方ご記憶に新たと思うんですけど、ペイルートという所ありましたね。あそこでキリスト教とイスラム教が戦ったんですよ。一度に5百人千人平気で殺したんですよ。それはそういう風にひと思いに殺した方が慈悲深いという考え方なんです。これが砂漠の文化なんです。

そこへいくと東洋は雨が降ってね、今日は良かったなあこないいいお天気になってなあまったく、あの雨じゃどうしようもねえもんなあ、あの雨が降ってくると要するに木々が生えてくる水も出ると、それだから東洋のモンスーン地帯の人たちは非常に考え方が大らかなんでございますよ。

その際たるものは仏教なんです。仏教喧嘩しねえもん、喧嘩しねえからどンドン追いやられちゃうんだよね。例えばアショカ王という方が全インドを統一するんですよ。他の宗教を禁止しましょうかって大臣がねお追従に言うんですよ。そうするとアショカ王は一つになったら墮落しちゃうよと、みんなお互いに励まし合い戦い合うことによって世の中は進展するんだよと、だから仏教以外のものを禁止するという事はまかりならん。全部てんでいい所があるのだからそのいい所を認め合うようなのが仏様の教えだよという様な事をねえ、ちゃんと今でもまがい詔勅って岩に彫ってあるんですよ。まあそういうね寛容とね思いやりちゅうかこれが東洋の考え方なんです。これがモンスーンアジアの考え方なんです。

こういう立場に立たないとねロータリーは成り立たねえわね、ロータリーは。

◎職業奉仕の原点◎

例えばね、要するに同じクラブの中にもお互いに考え方違う訳ですよ。その違うことを認めながらお互いに励んでいく、協調していくそれがロータリーだと思えますよ。だからロータリーはね排他的な、この寛容・融和これ

除いてはね私は成り立たないと思うね。

例えばですよ、皆さん方今日みんな背広着てるだよね。私も和尚だからさ背広着て来たですよ。この背広っていうの皆さん方どうですか。この背広はねこりゃプロテスタント、キリスト教のプロテスタントのユニホームなんです、もともとは。このワイシャツ、中世の尼さんのユニホームなんですこりゃ。

何故じゃ背広を着ているかという、昔の中世におきましてはねえ、金持ちは金持ちっていうか地主とかなんかはマント着てたんですよ。下はねタイツだよ。ピターッとしたあのバレエこんなってやるでしょ、あのタイツ着て上はマント着てステッキ持ってたんですよ。頭の毛はねこういう風にねこうねえあの西洋の裁判官みてえなあれ西洋の裁判官はカツラですけどね、あれは要するにねえ労働っていうのは卑しい者がやる仕事だっていうんですよ、卑しい者がやる仕事だ。これが中世のキリスト教いわけの旧教の考え方なんです。

インドへ行きますとねえなるべくホラ吹かなきゃダメですよ。カーストというインドには階級が4つあります。例えばお風呂なんかね、インドでは温泉でも階級別に入るんですよ、お風呂階級のようになってるんですよ、階級のように。私はインドへ行ったらブラーマン、バラモンだってインドの最高の階級はバラモンていうんですよ。おりゃあ日本のバラモンだって日本にバラモンもくそもねえわね、バラモンだっつって威張ってたら次の日にね、あのインドでは起きがけにベッドティーってやつ持って来るんですよ。ベッドの中でこうティーを飲むやつ、あれを出て行って飲むようじゃダメなんです。あれベッドの中で堂々と持ってこらしてねこうやって飲まなきゃダメなんです。

そのベッドティーをね飲んでたらね、ふっと見たら私洗濯物干してあるんですよ。それ見た途端にボーイの野郎がね急に態度変わっちゃってドッカーンなんていって帰っちゃったんですよ。ハッしまったあと思ったのはねえ、インドで

は洗濯っていうのはね貧民のやる仕事なんですよ。こっちは最高の階級だっていった奴がね洗濯やっちゃったから。

というのはね皆さん方外国旅行するときにねえなるべく下着なんて少なく持っていくのがいいですよ。だから私はこのまんま風呂へ飛び込んじゃうんですよ、そしてふやかすでしょ、それこう石鹸付けて体こうくっつけてね最後にシャワーやる時がね体も綺麗になると同時に洗濯も出来ちゃうでしょ。そしてそのまんま干しちゃうんですよ。そうすると明日朝までに乾いちゃうんですよ。まあそんな素っ裸で寝るんですがそのねえ洗濯やったっていうのが貧民だっていう訳なんです。ですからインド行ったら絶対自分で洗濯しちゃダメですよ。

話は中世に戻ります西洋の。西洋の中世では卑しい人が貧しい人が働くんですよ。それだから金持ちはこうしてねステッキ持ってこうしてられるんです。それが時代がそうしていらなくなっちゃったんですよ。産業革命だとかね、そういうことで地主が崩壊して今までの小さな中小の地主さんも工場で労働しなきゃなくなっちゃったんです。こんな頭してるとねえベルトに持ってかれちゃうじゃないですか、頭。そうかと思うとマントじゃ働けないでしょ。それだもんでジャキジャキジャキジャキって半分に切ったんですよ。そうかといってタイツじゃ困るからっつってズボンを少し幅広くしたのがこの背広なんですよ。

ねえ背に広いなんていう当て字してますけどセヒロフってねえロンドンの日本という横山町の名前なんですよ。繊維問屋の名前なんですよ。それだからそれはプロテスタントが労働を通じて神のミワザを実現するんだと、どんな仕事でも神聖なんだよと、こういうことでですねえ働きいいという服装をしたんですよ。それが今の背広なんです。ですからこれは新教徒プロテスタントの服装なんですよ、ねえ。ですからどんな仕事でも職業は神聖であると、そういう所からですね、我々のロータリーの職業奉仕

だってそういう所から出てるじゃないですか。

元々資本主義なんてのはねえ、例えば十円儲かったっていうのは十円分だけ社会に奉仕したから社会がくれたんだよと、社会にもらったんだから贅沢できないで節約して節約して、そして今度は二十円儲かるように二十円分社会に奉仕するように、というのが本来の資本主義なんですよ。その宗教性が無くなっちゃってねえ、お金だけ二十円三十円それよりも五十円だ百円だっていう、それが悪しき資本主義なんですよ。そういう資本主義の宗教性社会に奉仕するっていうのは無くなっちゃった、これが丁度ね最盛期がロータリーが出来た1905年という時代なんですよ。

だからロータリーが出来たっていう事は、そういう悪しき資本主義に本来の資本主義、社会に奉仕するという宗教性を持たそうとした非常に意義あるものじゃないかと私は思うわけですよ。ですから、我々の社会に奉仕する。

だから日本でもねえ鈴木正三って、正月の正にあの一二三の正三という人、この方はねあの関ヶ原で負けた武将なんですけれども、この方が禅門に入ってですね坊さんになって画期的な思想を出してるんですよ。その精神はですねえ百姓は朝から晩までお経を唱えたってダメだよと、百姓はいい米を沢山作って安く人々に奉仕するそれが仏道を行ずる事なんだよ、商人は遠隔の地から珍しい物を安く持って行って人々に与えるそれが商人の道なんだよ、それがまた仏道を行ずる事なんだよ、工人いわゆる生産者ですね、それは人々の喜ぶ物を沢山安く作



ることこれが仏道を行ずる事なんだちゅう様なことをねえ、徳川の初めに言ってんですよ。これがやがて心学、心の学としてですねえ一つと徳川時代を支配し、そして明治にこの資本主義が流入しやすい精神的な基盤を作るわけなのでございます。要するに我々の職業を通じて社会に奉仕するという、こういうのがですね私は日本にもあったんだという事を是非ですねえ、みなさん方に覚えていて頂きたいと思う訳でございます。

◎ロータリーで学ぶこと◎

翻って現代の我々ロータリー、ロータリーっていうのは、私はねえ尊い事だと思うよ。例えばですよ私がこの間もある人を推薦に行ったらよ、ロータリー入ってくれよやとこう言ったらどうですか、自分の頭のハエも追えねえでて人の奉仕なんてとてもダメダメって言いやがった畜生。ねえ、そういう俺が俺がという世の中です、奉仕奉仕というこういうロータリーって、こりゃあねえ、まさに現代の一服の清涼剤だよ、私はそう思う。

例会だってそうですよ、異業種が集まって上手に出来てるね。異業種だもの。足引っ張る奴いねえじゃん。私はねえ地区大会の時、前日雨降ったんですよ、弱ったなあと思って、それだもんでねえ朝起きたらパーッと今日みたいに晴れてるんすよ。富士山にうっすらと雪積もってるんですよ、良かったなあと思ったからね、いきなり今日は良かったよお天気になって良かったよ、ロータリーロータリーとうつつ抜かしてるから俺の同業者達は、あの野郎ろくにお経読まねえからこのざまだなんて言われねえと。そこへ行くと異業種のロータリーは有り難いねってやったら拍手喝采でねえ、えらくうけちゃっただけんどね、この異業種の皆様方がね1週間にいっぺん会うわけだ、ねえ。そしてお互いのいい所を盗むですよ、いい所を。そうすりゃあねえ、それを家に帰ったり或いは従業員達に俺ああそこじゃこんな事やってるやこんな

事やってるやっついたらねえ、プラスになりますよ。

私の寺がね多少なりとも伸びたのは、私はロータリーのお陰だと思うなあ。

私のクラブにねえ厳密にいうと隣のクラブだけれどねえ、チョウショさんという人居たんだよ。この人はね、昔のお公家さんだよ。この人がゴルフに行くときねキャディーがクラブ持ってくるでしょ、そうするとやあ有り難うや有り難うやあ、キャディーさん5番ウッドの5番頼むっていう、そうすると途中まで持ってくるとああダメダメ5番じゃダメ、4番でなきゃ届かねえわりわりいって、来る度に有り難うや有り難うやあって言うんですよ。私は早速それを真似たの。

ある箱根のクラブ行ったらね、有り難う有り難う、いやあ悪いなあなんて。そしたらキャディーがね私と一緒にプレーした奴に小さい声で「あの人がどういいう人」て言うんだ。「ありゃあ毘沙門さんのおっさんだよ」っていったら、「なるほどね」つつたもん。こりゃ悪い意味じゃねえと思うよ。ねえ。私はチョウショさんの真似をしてこうなっただよ。これだからねロータリーただ飯食い食いじゃダメ。卓話が始まったらパーッと逃げちゃうようじゃダメ。ねえ折角の例会が何にも意味無いじゃないですか。

◎人の振り見て男を上げる◎

私はね藤山一郎のお陰で男を上げたんだよ。今から25、6年もうちょっと前かなあ、新沼津ってゴルフ場でねお風呂入ってたんですよ、したら前に似た人いるじゃないですか。藤山一郎に似てるなあ、だけれども沼津に居るわけねえなと思って、そしたらねコンペが終わってあの会社員の連中がべべべっとドボンってバシャンなんつって藤山一郎のほった、お湯かけたですよ。

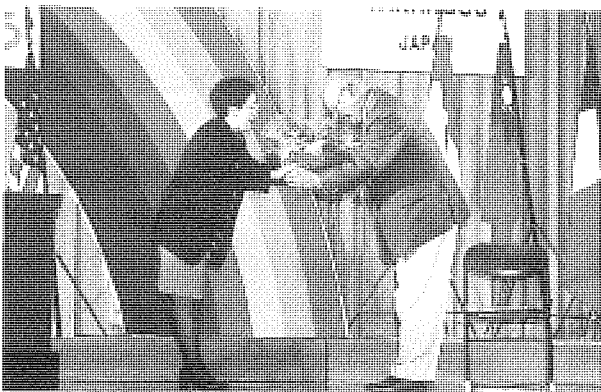
私だったら何しやがるんだこの野郎なんつって脅かしてやるんだけどね、その頃俺100kg位

あつて柔道盛んにやってた頃だからね脅かしかねえよ。そいつ黙ってこんななつて、その横顔があつこりゃ藤山さんだなぁと思ってね、「藤山さんですね、私吉原クラブの高橋と申します」ついたら「はあ」なんつて、「あなたもロータリアンでしたか」って俺の事言うだよ。

その時私はね、この若い衆に向かって皮肉言ったの。「世の中はねえ、日本は有り難い世の中になったなぁ、天下の藤山一郎と何処の若い衆か分かんねえ、馬の骨か分かんねえ奴と一緒に入れるんだからこんな有り難いことはねえよ」つってさっきのインドの話をした訳ですよ。

大体それにですねえ、今若い衆がね尻洗って風呂入んねえわな。いきなりドボンだよ。下を洗って入るのが銭湯のマナーだよ。尻も洗わねえ野郎と天下の藤山一郎と入るんだからねえ日本は有り難い民主主義の世の中ですねえついたら、藤山さんおほほほほって笑ってたよ。その言葉が非常に印象的だったと見えて今度はねえ東京の西クラブメイクした時ね、高橋さんどうぞなんつて隣で飯を食ったで。ロータリーいやいいじゃないですか天下の藤山一郎とねえ、一介のくそ坊主と一緒に飯を食えるんだよこんなのはねえ、こんないいとはねえっすよ。

その時に藤山一郎さんが湯から出る時だよ、皆さん方がお風呂入ったときねえあの椅子と洗面器があるでしょ、ね。座るときにゃあ誰座ったか知んねえ、穴くっつけてくねえからねえ、



キスしたくねえからジャーとこう流して腰かけらあ。立つ時に洗う人いませんよ。藤山一郎さんちゃんと洗ってね、洗面器をこう立て掛けて出て行っただな。それを私はねもう20何年間真似てるだよ。

それをわざと大仰にやっただよ、4月にね学生達を連れてねオリエンテーションに行った時に。老人会の人達が来ててね、私の生徒に「あの先生は何という先生だい」って、「高橋さんていって毘沙門さんの先生だ」って。「大した先生だね、あの先生に教わるのはあんた方幸せだ」って、生徒は馬鹿だから分かんなかったでしょ。それだもんで先生素晴らしいってねえなんつってね、いきなり男を上げちゃった。

要するにこういう様なこれがロータリーの例会なんですよ、ねえ。

◎奉仕もやり方が大事◎

それでねえ私は、今不景気ですから一生懸命増強しようと思ったってねえ、増強できねえよ。私がああガバナーの時にねえブラウンさんから直接手紙来たでえ。おめえは約束破ってるっちゅうてあと100人足りねえなんて、冗談言うなで不景気もあれだしようがねえじゃんてこっちは平気で誓約書書いてやったけんど実行しなかったよ。こりゃあしようがねえんですよ。

だからこういう時にはねえ現有勢力をもっと勉強するんだよ。一騎当千にするんだよ。増強の強はね勉強の強なんだよ。そしてもっと大らかにやろうじゃんロータリー。

奉仕だ奉仕だってお金をねえやたらくれたってねえダメ、ねえ。お金のことだったら私大失敗したのはね、私のとこにねビジッターというスリランカの坊さんがね3年居たかな、3年居たんですよ。その3年でね私はスリランカの仏教と日本の仏教と所詮根本的に違うんだから、日本の仏教を教えたって役にたたねえと、それよりも彼は米の単作地帯だから、私の村はねえあの一キュウリだとかフリージアだとか菊だとかそういう換金作物、そういう様なすぐお金に

うなものでなきゃあダメだなぁ、奉仕の方法を変えなきゃダメだなぁという事を痛感したんです。

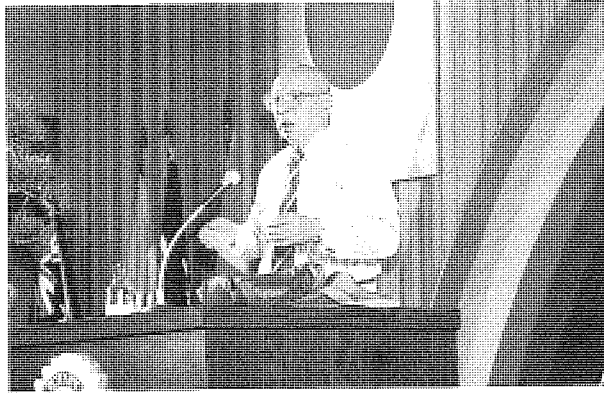
◎新しい奉仕を開発しよう◎

それ以来私はですね、奉仕をする人を激励する奉仕もあっていいんじゃないかということをお願い続けてきたんです。

私はねえこんな漫談みたいな事をやるものでねえあちこちから高橋さん来てくんやあ、実はねえ年寄りのあの寝たきり老人の病院で、ねえ今じゃ機械がこうあってお風呂へ入れるに機械でやるけれども、それでもあの腰をぎっくり腰にしたりするでしょ重いから。それだからねえ高橋さんどんどんどん看護婦さん或いは看護人がやめちゃう、何とかやめねえように高橋さん激励してくんないかやと言った。それをねえ片っ端からずーっと行って、あんた方の仕事は尊い仕事だから、精々ががんばって下さいよというようなことをねずーっと続けてきた。そういうとこじゃねえ講演料はゼロだよねえ。まさに奉仕の理想だよこりゃ。で、そこから私は考えた、ねえ、金だけじゃないこういう奉仕だつてあっていいじゃないのかと。

例えばですよ、道路をおばあちゃんが一生懸命掃いてると、十何年も掃いてると。そのおばあちゃんにですね、職業奉仕の表彰だけしてえから俺のとこ来てくれよなんて、そのおばあちゃん来ねえよ。そこで私の会長の時に感謝状を書いてね、表彰状書いて額付けて持ってたんです。あれ額付けてかなきゃダメだよ、紙だけじゃ。額付けてったそのおばあさんが死んだんですよ。そうしたらね私はあああのおばあさん死んだっけやあつっつから、じゃお経あげてやるかなあつっつ寄ったんです。

どうですか、私が会長の時くれた額をお仏壇の横へ奉つてあるだよ。それで息子、息子つっつたつて60過ぎてる息子だけれど、うちのばあさんは生涯こういう表彰状なんてもらったのはこれだけだと、何時もあれをみちゃあ有り難



い有り難いってたつていうんですよ、ねえ。ああ俺は良い事をしたなあ。

そしたらその息子がどういうことを言ったかという、私も今もうすぐ定年になるから定年終わったらおばあ跡継ぎしてもらいますよ、とこう言ったの。こういう奉仕だってあっていいんじゃないですか。

朝、早朝のですね、サッカーやったり野球やったりして青少年を教えているねえ野球好きなんているじゃん。そういうのにせいぜい俺のそこへきてなあ、今日は表彰してえから飯と一緒に食おうじゃないかっつって例会へ呼んで表彰したらその人一生懸命なって、もっと一層青少年の育成に努力してくれるんじゃないでしょうか。

私はねえ奉仕をねえ開発してもらいたいと思う。手続要覧にある奉仕じゃなくてさっき申しました様に、秋田南なら秋田南でなければ出来ない奉仕の一つ開発していただきたいと、こういう事を思う訳でございます。

ですからねえ皆さん方、この世の中にねえ奉仕だ奉仕だなんつたつて出来っこないよおじゃなくて、出来る奉仕をやっていただきたい。

◎奉仕の灯をともし続けて◎

仏教では布施っていうものはねえ、自利利他なんですよ。自分がねえこのお金を布施しても家族が路頭に迷わないああ大丈夫だというのを布施するのが本当の布施だっていってるんですよ。オウム真理教の様な布施は布施じゃねえんですよ、ねえ。そうすれば皆さん方のですねえ、

ねえ一杯やるところを我慢してポリオに協力してもらおうなり千円ぐらいなあ。

その千円がねえインドへ行きゃあ何十倍何百倍になるだよ。だから無理のない奉仕を布施をして欲しいと言ってあるいてるんですよ。

特にねえ、皆さん方のロータリアンには素晴らしい人いるじゃないですか。この中のロータリアンをねえ借りてそうして例えば産婦人科の先生が居たら、若妻学校へ行ってもらうんだよ。そうすると本人にとっては職業奉仕でクラブにとっては社会奉仕や。そうすると聞く方はああお金だお金っていうのじゃなくてああロータリーはさすがにステータスが高いということになるじゃないですか。こういう意味の奉仕を一つ高いねえグレードの奉仕をねえ考えて頂きたいと思うんですよ。

とにかくロータリーには人物がいっぱい居るもの。私はねえカトマンズのねえあのロータリークラブへね、ペニシリンの期限が切れそうになったやつどの位運んだかわかんねえですよ。ここにお医者さん沢山居るでしょうけどね日本のお医者さんはねえ期限が、あのフィルムだつてそうだよな、今日までだつたつてねえなあに今年いっぱい十分つかえるよ、そういうペニシリンがねえ向こうのねえ会長があのお医者さんが言うんだよ、期限が切れてもいいから持ってきてくれって言うの。そのお医者さんにじかに話してね期限が切れそうになったやつをもらってつてどの位運んだかわかんねえよ。そうするとカトマンズのお医者さんが金曜日の日にねえ橋の下に寝ている奴に注射打ってくれるわけですよ。だからそういうねえ廃品利用の社会奉仕だとか国際奉仕だつてあるわけですよ。要は頭を使うことですねえ。

私がこの世の中つうかな現代で一番嫌いなテレビはねえあのお金持ちのお屋敷拝見つての。俺はねえそんな豚小屋みたいなところ住んでからさあねえ、そのやっかみもあるけどよ正直言って、こんなでけえ家住んでねえ、その時の言いぐさが気にいんねえですよ。俺はこれだけ若

い時はこういう努力してこういう努力してこういう努力したと、冗談言うなつうの。努力したって報われない人も沢山いるんだよ、むしろその方が多いんだよ。成功したということはその人が運がいいんですよ、それだからねそれを自分で考えてああ俺は運がいいんだなあ、それには余情の功德を無理のない功德をしようよというそういう気持ちをですねえ持ってもらいたいと思う。

特にロータリアンなんてねえ、今の厳しい現状からいって大変かも知れんよ、だけれどもまだまだこのバッチを付けてる人はねえ恵まれている方だと思うよ。だからそういう意味において、一つ奉仕というもののこの火を消さないで頂きたいなあということをおま感ずるわけでございます。

◎まずは家庭で実践を◎

インドですねえこういう物語があるんですよ、インドでは。それはですね、二本の木があったと、一本の木はパラパラパラと自分のねえ落ち葉を足元へ落としたり。こっちの木も足元へ落としたりパラパラここへね。落としたり。それによってその土地が豊かになってそして小さい木が生えたり草が生えたり虫が出たりしてですね、そこが楽園のようになったと。

もう一本の木の方は俺にだまってあんなところへ小さい木が生えたり草が生えたりふてえ野郎だと。ようしつって物凄い風がバアアと吹いた時ね葉っぱを落としたりつていうんですよ。葉っぱは遠くへ飛んで行っちゃつたつて。それを繰り返している内に足元がどんどんどん干からびていっちゃつて、ある年日照りが続いたらとうとうその木は枯れてしまった、人間こうあつてはならないよというお経の一節があるんですよ。

どうぞ皆さん、せいぜい足元にねえ余計な葉っぱでいいから落としてもらいたい。ねえ、是非それをロータリアンとして続けていただきたいなあと思うわけでございます。

最後に皆さん方に伝承致しますが、どうか皆さん方のお孫さんを立派にしてもらいたい。

私がねえある家行ったんですよ、こんばんわあつて。誰って言うから毘沙門の和尚だけんど、「今誰もいない」つて、てめえがいるじゃねえかと思うんだよ。悪いけど今あのお届け物を頼まれて持ってきたんだけど降りてきてくれない」つたつたらね、その娘ドサドサドサドサつて階段降りて来た。見たら足の根っこまで見えるようなパンツだよ。下から見るから目のやり場に困るよ。降りてきて畳の上へ膝でもつくかと思つたらそうじゃねえ、柱へつかまってこんな格好してね、「今だあれもいねえんだけど」つうの。

今畜生と思つてねえ、てめえいるじゃねえかつて言おうと思つたけど、まあこんな小娘と喧嘩したつてねえ、ガバナーがさあ沽券にかかわる。それで悪いけどこれやって下さいよつてことに。

そしてその帰りがけに考えたの。どうですか皆さん方。皆さん方にはお孫さんも沢山いるや、息子はもう手遅れだよ。なあ。お孫さんにね是非こういうマナーを教えて頂きたい。年寄りつていうものはねえ風雪を経た文化財だよ、ねえいまはねえこの年寄りがね居なくなった日本はダメ。

是非ねえ皆さん方のこの年寄りの知恵をお孫さんに教えていただきたい。そうすればねえ13万人もロータリアンがいるじゃないですか日本には。ねえ外孫から内孫いれりゃあ5人ぐらいなるじゃん、そうじゃあ50万から7、80万100万ぐらいの素晴らしいものが出来るじゃないですか、ねえ。

せめてね藤山一郎さんのように椅子は洗わなくてもせめてお風呂場へ行ったらちゃんとスリッパをぬぐようなマナーをね、ロータリアン教えようじゃございませんか。それがね青少年奉仕だ何だかんだつて難しいことという事は無い、まずロータリアン自身が立派な家庭をつくりさあ、夫婦だつて仲良くしようよ。俺だつて喧

嘩ばっかしてるけどねえ、そして世間の範たるものになっていけばさすがはロータリーだっということになるんじゃないでしょうか。

そして余裕があればですねえ少しでもねえ、人々に布施し奉仕していこうじゃございませんか。そうすればねえ私は日本安泰だと思うんですよ。どうも失礼致しました。

高橋堯昭氏プロフィール

略歴

昭和2年、静岡県富士市に毘沙門天妙法寺の長男として生まれる。得度後、昭和25年、東京文理科大学（現筑波大学）哲学科卒、昭和28年、同科研究科修了後、毘沙門天妙法寺第三十三代山主就任。併せて、身延山短期大学に奉職。法務をこなしながら、以後、一貫してギリシャ・ローマ文化と仏教との融合の過程（東西文化交流史）をテーマとして研究する。

現 毘沙門天妙法寺山主

身延山大学教授

身延山大学就職部長

前 身延山短期大学図書館長

研究の過程で、まだ海外への渡航が難しかった昭和30年代より四十数回、インド・パキスタン・アフガニスタン等の仏跡調査旅行を行う。その経験やエピソードをふまえ、仏の教えを誰にでも解るようにやさしく説く独特の法話が「風流説法」と称されている。

また、ロータリークラブの活動も積極的に行い、国際ロータリー第2620地区（山梨・静岡両県）の1995～1996年度ガバナーも務める。

著書

『風流説法 わかりやすい法華経』

『風流説法 愛と思いやり』

その他、論文、共著多数